

まなびい 8

最上教育事務所社会教育課 発行 【お問合せ：Tel. 0233-29-1441】

第60回最上地区生涯学習推進大会 第39回山形県生涯学習振興最上大会

11月16日(水)、鮭川村中央公民館を会場に、『生涯学習社会の形成と活力ある地域づくり』～生涯学習・生涯スポーツを通じた笑顔のネットワークづくり～を研究主題に掲げ、標記大会を開催しました。昨年度は、全国、東北地区、山形県大会を兼ねていましたが、今年度は、これまで通りの最上地区のみの大会となりました。

新型コロナウイルスが、これまで以上に広がっている状況ではありますが、県内外の各種イベントや行事が再開され、ウィズコロナとして社会の様々な活動が、以前の日常を取り戻しているかのようです。そのような中ですが、本大会は、第60回の節目の年を迎えました。大会事務局としましては、今年度は、これまで培ってきた最上地区における社会教育、生涯学習の動きをここで止めてはいけな、アフターコロナの時代に向けて進まなければならないという熱い思いをもって、大会の準備と運営を行って参りました。

鮭川村教育委員会からの全面的なバックアップにより、アトラクションは、「清流さけがわ太鼓」の迫力ある演奏と、数ある総合型スポーツクラブでも着実にクラブ経営に関して実績を積んできた「NPO 法人さけがわ友遊クラブマネージャー伊藤淳子氏」の講演、全国的にも人気上昇中のニュースポーツ「モルック」体験を実施することができました。また、第60回の節目を記念し、「最上地区生涯学習推進大会のあゆみ」の発行と、これまでの各市町村教育委員会等の社会教育・生涯学習の取り組みを紹介する展示も行い、大会に華を添えました。



残念ながら、参加者数が87名と少ない大会になってしまいましたが、参加者からは、「清流さけがわ太鼓は、迫力がありとても感動しました。」「講演の中で、スタッフ自身が楽しむことが大切という言葉が心に残りました。」「モルックはとても楽しく、大いに盛り上がり、有意義な一日となりました。」等の感想が寄せられました。

来年度は、大蔵村での開催となります。歴史のある本大会が、最上地区の社会教育・生涯学習を牽引する大会であるよう大蔵村教育委員会の皆様とともに、開催していけるよう努力していきたいと思っております。

第2回最上地区放課後子ども総合プラン指導者研修会

11月1日(火)に山形県神室少年自然の家で上記研修会を開催しました。晴天に恵まれ、神室の美しい空気の中、4つの内容から選択した2つの研修に取り組みました。軽スポーツ・レクリエーション活動では金山健康ふれあいスポーツクラブの栗田伸一氏より頭と体を使った運動、環境にやさしいリサイクル工作では環境科学研究センターの安藤昭氏より牛乳パックでできるリサイクル工作、自然探索と自然体験では山形県神室少年自然の家八鍬圭一氏より自然の中での色探しや体験活動、身につけておきたい手当の基本と一次救命措置では最上広域消防本部北支署笹直人氏より救命措置について学びました。参加者からは、「自然の中やスポーツを通して子ども同士のつながりや考える力を引き出すような関わりを学ぶことができました。」「改めて救命救急の大切さを感じました。」「身の回りにある物で遊びが生まれることが勉強になりました。」といった感想がありました。



最上地区読育推進ネットワーク研修会

(兼) 最上地区読み聞かせサークル連絡協議会研修会

(兼) 最上地区家庭教育推進協議会研修会



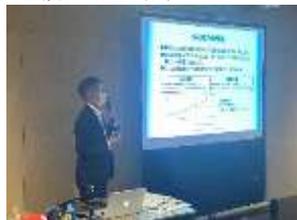
11月10日(木)、最上広域教育研究センターにて上記研修会を開催しました。鮭川村在住の絵本作家、ラーワーちひろ氏を講師にお招きし、「Let's 考えよう!話し合おう!子どもとアートや読書を楽しむことに関するあれこれ」を演題に、ワークショップを交えながら講演をしていただきました。アクリル絵の具を指先で混ぜ、気に入った色をどんどん画用紙に塗りながら、思い思いに描いていく「おえかきワークショップ」は、参加されたみなさんが楽しんでいました。後半は、読書のメリットやデメリットの両面についてみんなで考えました。ラーワーさんの話の中に、「好き」が原動力になるということがよく出てきました。好きなことにフォーカスして本を選んだり、本と一緒に読む人と楽しさを共有したりすることで、本好きな子どもが育っていくのではないかと話題になりました。日頃から読み聞かせ活動をしている方の参加が多く、学校での読み聞かせボランティアの様子や、おすすめの本などの情報交換も充実していました。



令和4年度 JSPO 公認スタートコーチ (スポーツ少年団)養成講習会

最上コース オンラインコース最上会場

10月23日(日)と11月27日(日)、新庄市エコロジーガーデン「原蚕の杜」を会場に上記研修会を開催しました。10月23日は全ての内容を対面で実施し、11月27日は事前のオンライン講義後の対面によるグループワークで実施しました。2日間で県内各地から52名の参加があり、講習を修了することができました。この講習会は、スポーツ少年団をはじめ各種のスポーツ活動において必要最低限度の知識・技能に基づき、安全で効果的な活動を提供できるコーチの養成を目的として行われています。「スポーツの意義、安全、指導プロセス、責任、役割」についての講義とスポーツ少年団活動についてのグループワークを行います。令和5年度も開催いたしますので多くの方の申込みをお待ちしております。申込みは、スポーツ少年団ホームページの「指導者マイページ」から申し込みます。問合せは、各市町村スポーツ少年団事務局や最上教育事務所をお願いします。



12月の事業予定

1日(木)	地区自作視聴覚教材コンクール審査会(最上総合支庁)
3日(土)	クラブ指導者スキルアップセミナー(新庄市民文化会館)
10日(土)	地区青少年育成懇談会(新庄市民プラザ)
11日(日)	JSPO-ACP 普及促進事業(わくわく新庄)
12日(月)	学校・家庭・地域の連携協働推進事業費補助金帳簿予備点検①(戸沢・真室川)
13日(火)	学校・家庭・地域の連携協働推進事業費補助金帳簿予備点検②(新庄・大蔵)
14日(水)	学校・家庭・地域の連携協働推進事業費補助金帳簿予備点検③(鮭川・金山)
16日(金)	学校・家庭・地域の連携協働推進事業費補助金帳簿予備点検④(最上・舟形)
27日(火)	山形県民俗芸能懇話会(オンライン)

最上教育事務所 社会教育課ホームページ

最上教育事務所 検索

過去の「まなびい8」も見られます。



社会教育事業に関する情報

- ・最上の社会教育の重点
- ・やまがた子育てちか菜 家庭教育出前講座
- ・生涯学習 生涯スポーツ
- ・学校・家庭・地域の連携協働推進事業
- ・自作視聴覚教材コンクール
- ・コミュニティ形成にむけた人材育成 ほか

名前:もがみる 最上エコポリスの実現 豊かな自然 輝くもがみ